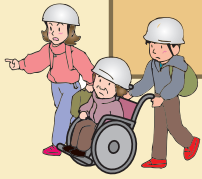


状況に応じた避難をしよう



●ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

マップを確認

- 想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。
- 裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

浸水の深さ

0.5m 未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

0.5m～3m 未満の浸水

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

3m 以上の浸水

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

判断

必ず

少なくとも

時間と安全な避難経路が確保
されていれば

必ず

どこへ

自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内安全確保



自宅の2階 危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難



浸水しない場所

(避難場所、道路、空き地、高台など)

- 安全な場所へ避難する
- 立退き避難(水平避難)



どうやって

- 水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる
- 近所のお年寄りも一緒に

- 歩きやすい服装
- 徒歩で避難
- お年寄りなどの避難に協力を
- 事前に避難先を話し合う

こんなときは
避難しましょう

- 大規模な地震が発生したら
(2～3日後までは警戒が必要)

- 集中豪雨、長雨のとき
- 避難勧告、避難指示(緊急)が発令されたら